

# こなんSDGsカレッジの活動を紹介します！

初年度は、一般公募により市内外の中学生・高校生・大学生が、「キックオフセミナー」、「KONAN SDGs Studios 2021」、「KONAN SDGs Action 2021」を受講しました。

## キックオフセミナー 8月

交通手段は増やせないか！?  
駅前が勉強できる場が欲しい!!  
湖南省でピクニックコンサートをしたい!!  
太陽光発電や風力発電を取り入れよう!!  
SDGsの取組を行動に移すことが大切!



**第1回「若者まちづくり課キックオフ」**  
参加者が「もし湖南省長だったら、どんな未来をつくるのか」というテーマでワークショップを開催しました。

**第2回「エネルギー×SDGs」**  
グローバルな視点で考える、湖南省に必要なエネルギーとその計画の説明方法について、それぞれの考えを発表しました。

**第3回「SDGs表現論」**  
「誰一人取り残さない社会」の実現のため、教育活動や社会課題に目を向け、SDGsに取り組む理論についての講義を受講しました。

## KONAN SDGs Action 2021

10月～11月



中学生、高校生を対象に、湖南省の森や木に関わるアクティビティとレクチャーを行う2部制のプロジェクト。  
1部では、NCLこなんから市の山林の知識や、マウンテンガイドから山登りの心構えをはじめ登り方や地図の見方を学習しました。  
2部では、木を活用したフレスコボールのラケット作りを体験。SDGsの視点で自分たちにできることを「MyこなんAction」として宣言しました。



10月～12月

## KONAN SDGs Studios 2021

湖南省のSDGsを発掘したい若者を募集し集まった学生11人、湖南省新入職員13人が参加し、8グループで約2か月間活動。「湖南の未来を明るくするひと」をテーマに、「農業」「食」「教育」などの分野で活躍する「SDGsに取り組む人」取材し、記事を作成しました。



# 若者まちづくり課プロジェクト始動



# こなん SDGs カレッジ

## はじめに

近年、全国的に人口が減少し、各市町では移住や定住を進める取組が行われています。市では、若々しいまちとなるよう地域の皆さんと一緒に「若者の新しい価値観」を取り入れたまちづくりを進め、将来を担う世代の移住促進や、市民が「ずっとここに暮らしたい」と感じ定住してもらえるまちをめざしています。

このような背景から今年度、将来を担う若者たちに自分たちのまちを深く知ってもらい、SDGsの視点か

ら持続可能な湖南省の未来について考えることを目的に、若者たちのたまり場「こなんSDGsカレッジ」を始動させました。

今回、「こなんSDGsカレッジ」の取組の報告と市内外の中学生、高校生、大学生、湖南省新入職員が考えた湖南省のまちの未来を紹介します。大人になられた皆さんも若者の皆さんと一緒に、自分たちのまちについて考えてみませんか。

## SDGsってなに？

「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称で、2015年9月の国連サミットで採択された、2030年を期限とする世界共通の17の目標のことです。地球上の「誰一人として取り残さない」をキーワードに世界を経済・社会・環境のバランスのとれた社会へと変革することをめざしています。



湖南省は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

湖南省は、2021年7月に滋賀県内の自治体唯一の「SDGs未来都市」として認定されました。若者をはじめ、多様な価値観を取り入れながら、まちの将来像「ずっとここに暮らしたい！みんなで創ろうきらめき湖南」の実現をめざしています。

「こなんSDGsカレッジ」の詳しい活動報告などは、市ホームページからご覧ください。



市ホームページ

地域創生推進課(東庁舎) ☎71・2316 ☎72・2000



若者の可能性が「開花」する様子を湖南省の花「サツキ」をイメージし、ロゴマークを作成しました。若者が主体的な活動を通じて、まちを構成するひとたちを紡ぎ、湖南省の持続可能な未来が創造されていくことを表現しました。

# 私たちの考える未来の湖南省を提案!



嶋田歩果さん

まちづくりや観光の分野を研究する大学生。市のまちづくりに参画したい思いから参加。



山本涼誠さん

市内在住の高校生。市のまちづくりに興味をもち、貢献したいと思い参加。

市内在住のカレッジ生である大学生の嶋田歩果さんと高校生の山本涼誠さんに代表してお話を聞きました!

## 実際に参加してみてどうでしたか?

嶋田さん:参加する以前は湖南省のことをあまり理解していませんでしたが、地域の人とまちづくりについて考える機会は湖南省の魅力を探す良いきっかけになりました。市内の人だけでなく、市外の方の積極的な活動の参加に刺激を受け、湖南省に住む私も市のまちづくりに協力したいと思いました。

山本さん:取材や活動を行う中で、まちづくりは官民共働で行うことが大事であると思いました。また、湖南省は工業団地のイメージが大きかったですが、近年伝統野菜の復活など農業にも力をいれたまちづくりを行っていることを知り、特産品のPRに携わりたいと思いました。

## SDGsカレッジを終えて今後は?

嶋田さん:まず、SDGsの取組でできることから1つずつ行っていきます。地域の人と協働し、誰でも参画でき、意見を言い合えるまちにしていきたいと思いました。

山本さん:今後もフィールドワークを通して、SDGsの取組としてできることを自ら探していきたいです。また今後機会があれば、湖南省の魅力を発信する観光プロモーションビデオを市民主体で制作したいと思います。

### こなんSDGsグローカリストとして認定証を授与!

グローカリストとは「グローバル(世界規模)」と「ローカル(地域)」を組み合わせた造語で、グローバルな視点で湖南省(ローカル)を舞台に新しい価値を創造するヒトとして、生田市長からカレッジ生に授与されました。

## 「こなんSDGsカレッジ」の今後

今回、「こなんSDGsカレッジ」で取り組んだ活動報告や取材記事は、今後ブックレットとして発行しますのでぜひご覧ください。

また、「こなんSDGsカレッジ」のプログラムの1つとして、令和3年11月から同志社大学政策学部との連携プログラムを始動しています。3月19日(土)に石部文化ホールで最終発表が行われる予定です。ぜひ、市広報・市ホームページをご確認ください。

この「こなんSDGsカレッジ」は、参加した若者の価値観や考えを実際のまちづくりに反映していくことができるのも大きな魅力です。来年度以降、若者たちの思いがどのようにまちづくりに反映されていくのか、ご期待ください。



▲湖南省地域まちづくりフォーラムに参加された皆さん

12月18日(土)、湖南省の未来を考える若者たちの活動報告会として、湖南省地域まちづくりフォーラム内で「KONAN SDGs FES 2021」が開催され、「こなんSDGsカレッジ」による2か月間の活動報告をしました。

## 湖南省の課題と私たちの提案



### 市内企業を取材

**課題** 市の防災対策が弱い。

**提案** 「湖南省内の小中学校で防災の伝承授業」や「住民目録での防災マップの作成」を行う。そのため、多様な人々との相互的な理解を深めるために、企業と住民と地域社会の関わりを親密にし、話し合いの場を設ける。



### 農業従事者を取材

**課題** 農業従事者が減少し、後継者不足。耕作放棄地が増加。

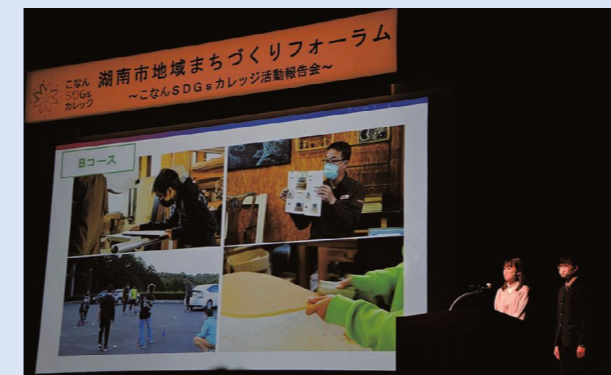
**提案** 農業の楽しさを市民の人が知る機会や耕作放棄地を自然豊かなものにするため、「農業体験推進プロジェクト」を行う。そのため、幅広い年齢層の人が参加でき、継続的に参加してもらえる仕組み作りをめざす。



### 湖南省工業団地を取材

**課題** 工業と地域と行政との関わりをより密接にしたい。

**提案** 運送効率化や二酸化炭素の削減をする「貨物運送共同化事業」や自家発電機からエネルギーの供給をする「F-グリッド構想」を取り入れ、「低酸素・エネルギーまちづくり改革」を行う。そのため、市役所内で工業全般の連携を図るための窓口を立ち上げる。



若い人に山林について興味を持ってもらえるようフォトコンテストを開催したり、山を観光地として発信し、自然と触れ合う機会を増やすためのイベントや授業を開催する。



2040年の湖南省のすがたとして、「地産地消で食に困らないまち」や「住みたい、住み続けたいと思えるまち」などの食や住に関する意見が多数出ました。